

おおいた発！ どんぐりの森から生まれたクヌギ家具

【研究のポイント】

大分県内にはしいたけ栽培用原木として使用するために「クヌギ」が多く造林されてきましたが、生産者の高齢化などにより原木として適期に伐採されることなく成長したため、しいたけ栽培に適さない「大きくなりすぎたクヌギ」が増えてきました。
この「大きくなりすぎたクヌギ」の新たな活用策として、家具への利用について研究しました。

「クヌギ」の材は堅く、製材すると表面に独特の模様が出て意匠性が高いという特徴がありますが、乾燥すると割れや変形が大きく生じるなど、家具材に使用するためには解決すべき課題があります。このため、材質の特性を検証し、家具に使用するための研究開発を行いました。

1. 製材・乾燥技術の改善

丸太の芯を避け30mm厚の小割材を製材し、その材を天然乾燥と人工乾燥を組み合わせた方法で乾燥させることにより、割れや変形を抑えることが可能となりました。



2. 材質の特徴を活かした利用方法の検討

クヌギ材の欠点を解消し、強度が高く硬いという利点を活かす利用方法として、集成材やスライス材としての利用を検討し、クヌギ家具(こたつ)の試作を行いました。

【研究の成果】



そのまま使う

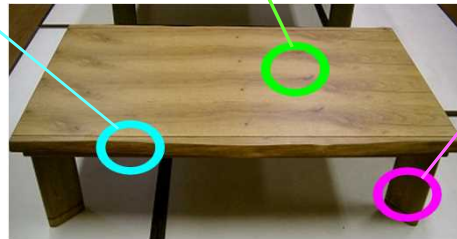
ムク材

薄くして使う

スライス材

寄せて使う

集成材



こたつ

※ 「こたつ」は展示会等でも好評を博し、県内の家具企業が販売を開始しました。今後も企業への技術支援を行っていきます。

【消費者の声】



大分市の消費者の皆さん

- 木目がきれい
- 手触りがとても優しい
- 温もりのある感じでよい
- 重量感があって丈夫そう

【連絡先】

担当: 林業研究部 木材チーム
TEL: 0973-23-2146 (問い合わせは 企画指導担当 へ)
住所: 日田市大字有田字佐寺原35